

内視鏡的膵胆管造影検査(ERCP)の入院から退院までの流れ

様式1

ID:@PATIENTID

氏名:@PATIENTNAME 様

	入院前	入院日	検査当日・検査前	検査中	検査後	検査後1日目	治療2日目～退院まで
月日	/	/		/		/	/
 治療 処置 検査等	・必要に応じて検査があります	・血圧や脈拍など測定します	・午前中から右手に点滴を行います ・検査着に着替えます ・入れ歯、時計、眼鏡、アクセサリ等は外します ・徒歩、車いす、またはストレッチャーで地下1階の透視室へ行きます	・のどの麻酔薬を飲みます ・検査はうつぶせで行います(うつぶせで行うことで胆管、膵管の診断が行いやすくなります) ・検査中は足に血圧計を巻き、指に酸素を測定するセンサーをつけます ・適宜、痛みや気分を和らげる薬を使用します ・検査中は声を出せません。頭元に看護師がついていますので、しんどいときには手を挙げてお知らせ下さい	・ストレッチャーで検査室から帰ります ・検査終了後、4～5時間程度点滴があります ・体温や血圧、脈拍など測定します ・鼻に管が入ることがあります ・検査3時間後に採血があります 	・朝、採血があります ・点滴があります 	・検査後2日目まで点滴があります
食事		・主治医の指示による食事が出ます ・食事制限やアレルギーのある方はお知らせ下さい	・一日絶食です ・水、お茶は午前10時まで飲めます		・採血の結果により水を飲めるかを お伝えするので、許可があるまでは水を飲まないで下さい	・採血の結果をふまえ、昼食から食事が再開となります 	
薬	・医師の指示により薬が変更になる場合があります ・現在内服中の薬、お薬手帳を入院時に持参して下さい	・持参されたお薬、お薬手帳を確認します(医師の指示により変更になる場合があります)	・糖尿病の薬(血糖降下剤)やインスリンの注射は中止です		・採血の後に夕方の内服についても指示があります。看護師が説明します ・糖尿病の薬(血糖降下剤)、インスリンの注射は中止です	・食事が再開となれば、糖尿病の薬、インスリンは通常通りとなります	
安静度	・体調を整えましょう ・禁煙して下さい ・以下の場合には外来へ連絡して下さい *38度以上の発熱がある *症状の変化があるとき *ご家族がウィルス性の病気ににかかったとき	・特に指示が無ければ病院の中は自由に動けます			・検査後に初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせ下さい ・トイレ以外はベッドで安静にして下さい		
排泄							
清潔	・アクセサリは外せる状態でマニキュアなどはとった状態で入院して下さい	・シャワーができます 	検査の後はシャワーはできません			<シャワーについて> ・医師の許可があればシャワーができます。 ・鼻に管が入った場合もシャワーはできます。看護師が対応します 	
説明	・入院生活や検査の流れについて説明します	・内視鏡的膵胆管造影検査以外の検査も予定されている場合は適宜説明を行います	・順番が来ましたら、透視室(地下1階)に行きます	・吐き気、腹痛、背部痛があればナースコールでお知らせ下さい。 ・ご家族の方は帰宅可能です。お帰りの際は看護師に声をかけて下さい。	・疾患や治療状況により、複数回の検査・治療を行うことがあります。 ・退院日は医師と相談し決定します ・退院は午前中にお願います		